



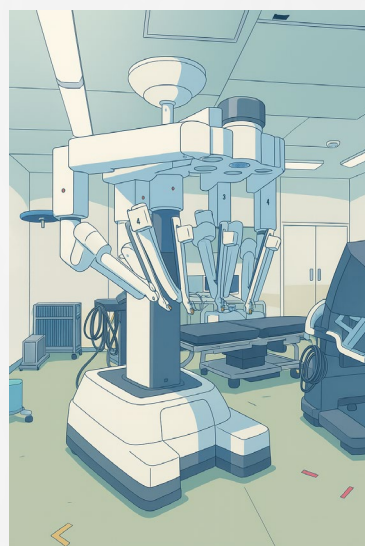
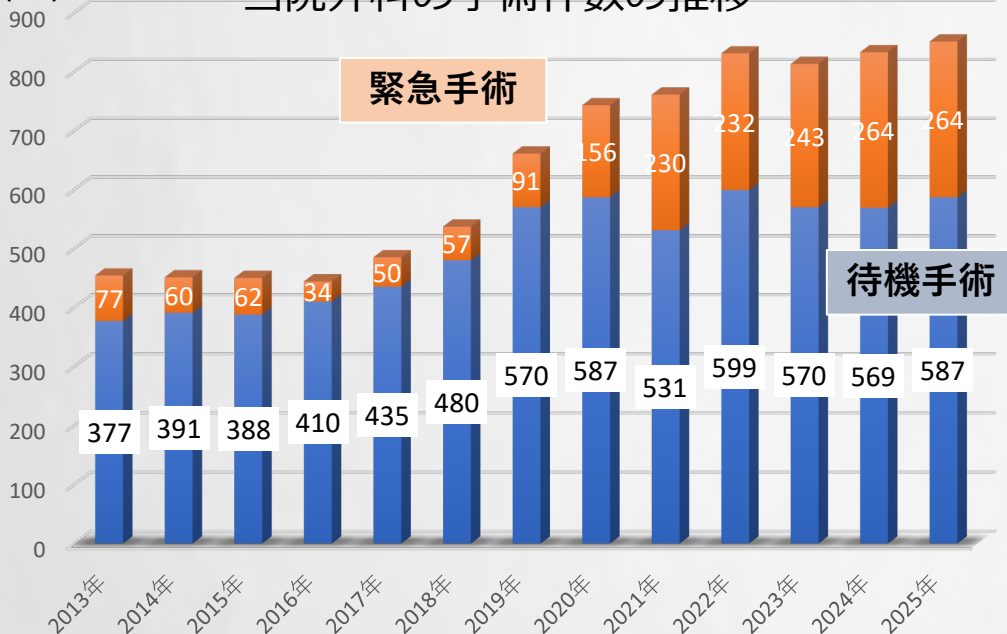
南大阪病院外科のご紹介

2026年1月

南大阪病院外科ではご高齢の方にも優しい手術・生活の質の向上が得られる外科的治療に積極的に取り組み、地域の外科的救急を支えます。地域関連医療機関の先生方のご指導・ご協力により、当院外科の手術件数は、2022年以降4年間連続で800件を超え、2025年には850件に達しました。当院外科の特徴としては、患者さんに優しいロボット支援手術を含め腹腔鏡下手術を積極的に行い、**緊急手術を含め全身麻酔手術の80%以上を腹腔鏡下に行っている**ことにあります。

腹腔鏡手術の安全性向上のため、詳細な術野画像が得られる4K腹腔鏡システムを3台導入しております。さらに、2024年2月からは出血が少なく・臓器機能の温存が可能である、など様々なメリットを有する手術支援ロボット DaVinci Xiを導入し、大腸がん・胃がんの患者さんに対して適応しています。2025年末までに150例の患者さんにロボット支援下に手術を適応しましたが、開腹移行例はなく安全に手術を行っております。

(件) 当院外科の手術件数の推移



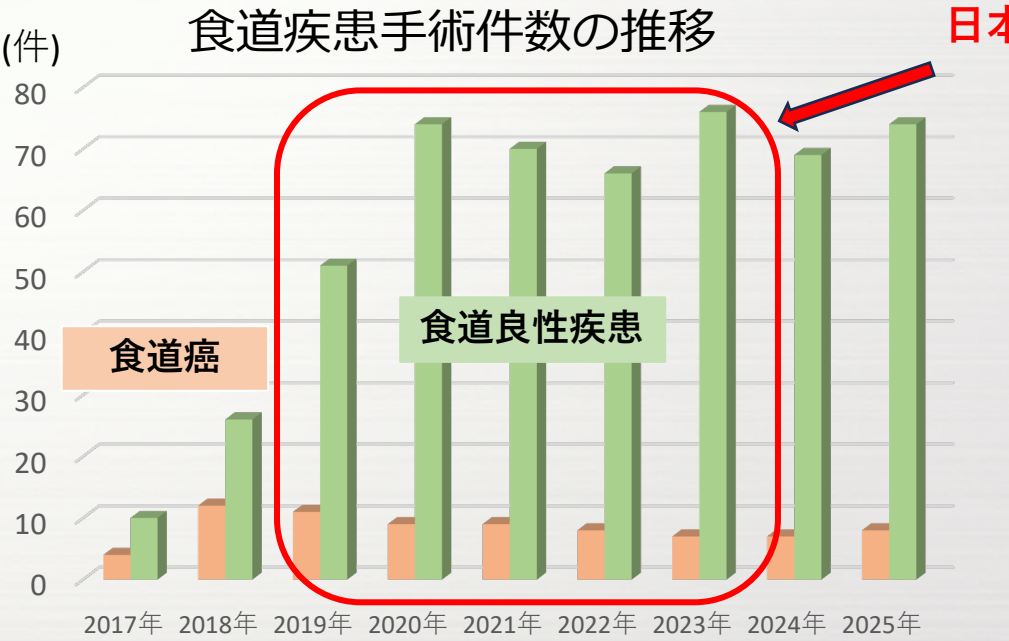
手術における利点

- ①ロボットアーム先端の鉗子は人間の手首より広い可動域を有している
- ②3Dハイビジョンカメラによる鮮明な画像情報により手術野の微細な構造物が確認できる
- ③外科医の実際の手の動きを縮小して鉗子が動く
- ④手振れがない



手術支援ロボットDaVinci Xi

当院は2017年から悪性・良性を含む様々な食道疾患の診断・治療を積極的に行い、2023年に日本食道学会が認定する食道外科専門医認定施設に認定されました。食道良性疾患に対しては正確な診断と治療方針の決定のために最新の検査機器である「**ハイレゾリューションマノメトリー（食道内圧測定）**」と「**24時間食道インピーダンスpH検査**」を導入しております。これにより内視鏡などで診断できない食道疾患の診断も可能となっております。さらに「**食道裂孔ヘルニア・逆流性食道炎**」に対する腹腔鏡下手術を積極的に行っており、**当院の手術件数は2019年以降5年連続で本邦最多となっております。**



日本最多の手術件数



今後とも地域関連施設の先生方のご協力・ご指導のもとに、地域の患者さんによろこばれ信頼される病院を目指して外科診療を行います。外科医・麻酔科医のオンコール体制を構築することで、24時間緊急手術が可能としております。今後、さらに地域の先生方の要望に応えるべく努力して参ります。

南大阪病院ホームページのご案内

2024年10月に南大阪病院ホームページをリニューアルしました。病院からの大切なお知らせや各診療科の取り組み、専門外来まで当院のいまをお伝えしています。広報誌・年報のダウンロードも可能です。是非チェックしてください。



トップページ



外科・消化器外科

